

理科小部会 理論 研修会 終了報告

テーマ	今年度の研究について	
日時	令和 3年 7月 9日(金)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	成田 一之慎 氏 (肩書:)江別市立江別第一小学校 教諭	渡邊 和宏 氏 石狩市立南線小学校 教諭
参加者	約 20名	
研修会 の 様子		<p>指導案の形式や今年度の研究の重点である「解決の方法を発想する力」について共通理解を図った。</p> <p>授業者が安心して指導案づくりを進めていけるよう今後問題になりそうな場面をいくつか取り上げ、解決していった。</p>
	 	<p>今年度の中心単元である3年生「音」、4年生「雨水と地面」、5年生「ふりこ」、6年生「プログラミング」の授業づくりのポイントについて確認をした。</p> <p>5年生の「ふりこ」以外は、新単元であり、理科小部会としても初めての取組となる。他社の教科書の実験方法と比較したり、実践例を挙げたりすることで、授業者の不安を取り除いていった。</p>
		<p>理論研修会終了後も、成田先生に個人的に質問をする方も多くいた。コロナ禍という制限された環境の中でも、前向きに授業づくりに取り組む先生方の姿が見受けられ、研究が一步一步確実に進んでいることが感じられる研修会となった。</p>